

第 50 回国臨協関信支部学会のお礼

謹啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、この度は第 50 回国臨協関信支部学会に関東信越地方の国立病院機構、国立高度専門医療研究センター、国立ハンセン療養所等に勤務する臨床検査技師 434 名のご参加をいただき、ライブ配信、展示フロアの閲覧等のプログラムを大過なく盛会のうちに無事終了いたしました。これもひとえに皆様のご協力とご支援の賜物と、ここに関信支部を代表し心より厚くお礼申し上げます。

今回の学会のテーマは「未来への跳躍～過去に学び未来へつなぐ～」とさせていただきました。今回、本学会の歴史を振り返り、過去を学ぶことにより今度 50 年に向けてさらなる発展につなげていくための大きな節目のイベントであったと思っております。

私たち臨床検査技師の未来には何があるか？ そのためには今、何をなすべきなのか？を考えいただき、“臨床検査の更なる深化”のために、会員の皆様方一人ひとりが一歩でも前に進んでいただければ幸いです。

学会の運営にあたりましては、厳しいコロナ禍での学会の運営につき、何かと不行届きの点も多々あったかと存じますが、何卒、ご寛容下さいますようお願い申し上げます。

最後に、学会にご参加いただきました会員の皆様方、開催に際しましてご協力を賜りました地区会関係者ならびに、学会企画、準備、運営等に携わっていただきました座長、学術委員会委員、OB 会、皆様方のこれからの益々のご活躍とご多幸を祈念してお礼のご挨拶とさせていただきます。

謹白

令和 4 年 9 月 9 日

第 50 回国臨協関信支部学会

学会長 吉田 茂久